



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

広
報

わたむき

第 54 号

発行 綿向生産森林組合
日野町大字村井1352
発行責任者 山田 彰一

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます
組合員の皆様には良きお年をお迎えのこととお慶び申し上げます
本年も何卒宜しくお願い致します

今年は、十干十二支において、
60年に一度の「乙巳」の年にあ
たります。

「乙」とは木の意味を持つことか
ら新たな成長の芽吹きを象徴しま
す。

また、「巳」は火の性質を持ち、
物事の成長や完成へのプロセスを
意味します。

これが組み合わさった本年は、
若いエネルギーが発展していく特
別な年とされます。

御挨拶

組合長理事

山田 彰一

当組合も厳しい環境下ではあ
りますが、育成している木々の
恩恵によって発展と成長を願う
次第です。

なお本年は、昭和から100年、
戦後80年、町村合併70年と
いう節目の年でもあります。移
りゆく時代の中で、先人が守っ
てこられた綿向のお山に感謝し、
巳年のパワーを取り入れ、柔軟
に健やかな一年を過ごせること
を祈念致しまして、新年の挨拶
とさせていただきます。

組合の動き

総代山林巡視

令和6年11月17日（日）
北畑方面



恒例の総代山林巡視を開催しました。

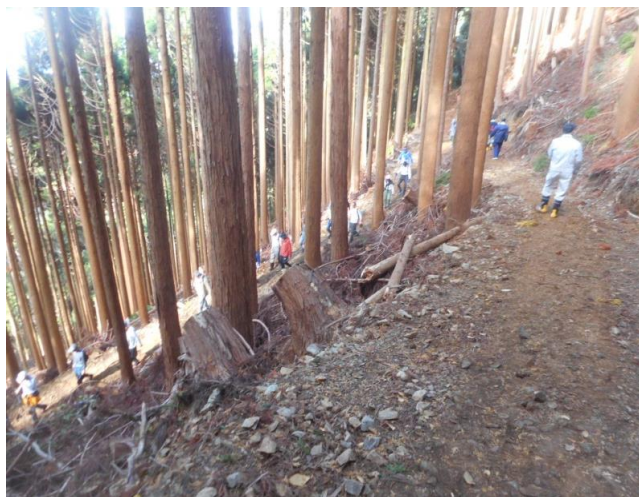
43名の総代の皆様に山の状況を確認していただきました。

今年度は、北畑方面において令和6年4月から「綿向山登山道」を通行止めとし、入山を禁止しています。現在、0合目の登山口から5合目にかけて森林整備を進めており、その作業状況を巡視していただきました。



集合場所である「綿向山御幸橋駐車場」を出発し、「組合林境界」や「接触変質地帯（天然記念物）」を確認した後、2合目付近まで登りました。

綿向山登山口からは、木材搬出のために新たに開設した「森林作業道」（道幅2.5m）を通して登っていただきました。森林整備終了後は「森林作業道」を「登山道」として活用していただく予定です。



菌山入礼会



9月11日、恒例の菌山入礼会を「預け札」入礼会として開催しました。開札の結果、売上額は69,637円となり、昨年比でやや減少しました。

ご購入いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



SGEC FM 森林認証更新審査



11月26日、日本森林技術協会による森林管理認証の更新審査を受けました。引き続き、町内1,044ha全区域の承認を維持し、搬出した木材はすべて「認証材」として販売可能です。

組合の動き

日野まちなか歴史散策と秋の栈敷窓アート展に協力

「日野まちなか歴史散策と秋の栈敷窓アート展」において、子供を対象に『木工クラフト』や『綿菓子づくり体験』を実施し、協力しました。



令和6年
10月19日（土）

組合事務所
駐車場



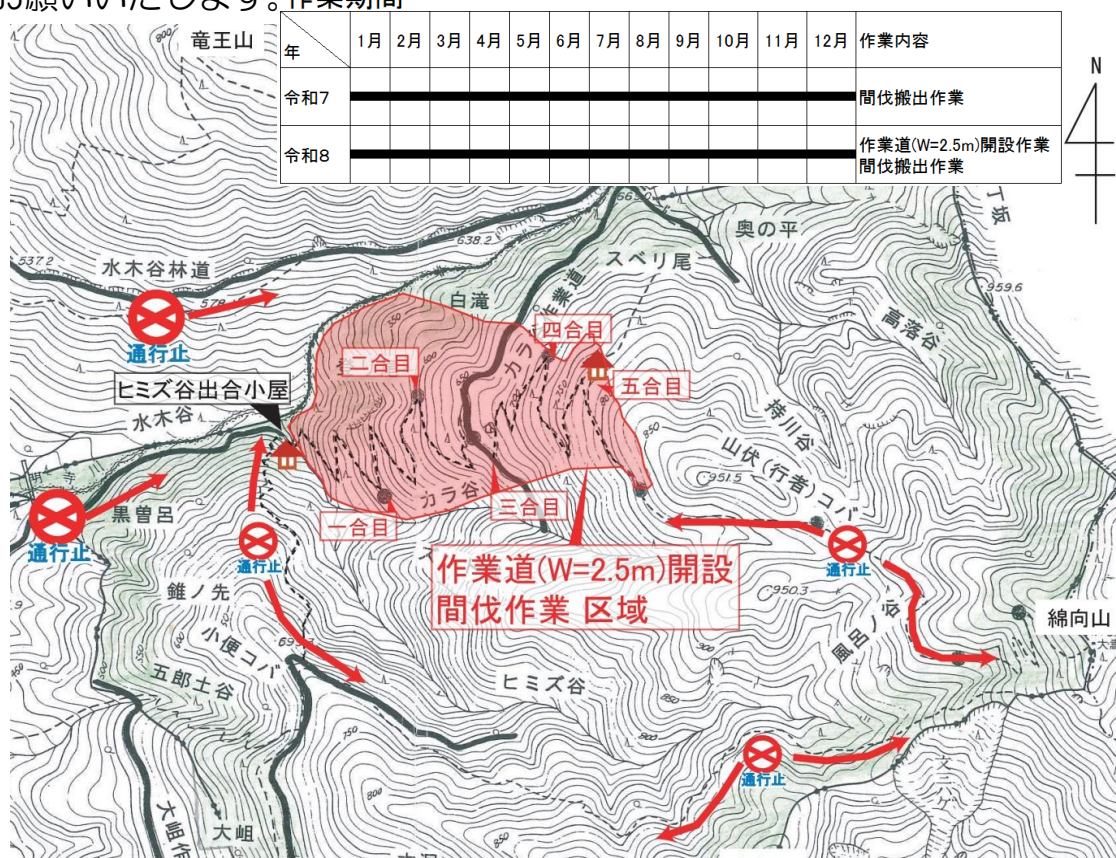
綿向山森林整備の進捗状況について

令和6年4月から「綿向山登山道」を通行止めとし、入山を禁止にしたうえで進めている森林整備の進捗状況についてお知らせします。

11月には総代の皆様に現地を巡視していただきましたが、その後さらに作業が進みました。現在、森林作業道は0合目登山口から5合目まで完成しています。また、作業道周辺の間伐作業は綿向山登山口から3合目まで完了しました。

来年度の計画では、3合目から5合目付近の間伐作業を進める予定です。

引き続き、「綿向山登山道」を通行止めとし、入山禁止とします。 皆様のご協力をお願いいたします。作業期間



東洋アルミグループ森林保全活動

琵琶湖森林づくりパートナーである東洋アルミ(株)様・東洋アルミエコープロダクツ(株)様が森林保全活動を実施されました。週前半の天気予報では雨が心配されましたが、当日は好天に恵まれ、無事に怪我や事故もなく作業を終えられました。当日は91名参加され、植樹や散策、木工クラフトなどを楽しみました。



石楠花遊歩道周辺での植樹



巣箱の設置



木工クラフト



林業道具の説明

J-クレジットを販売

「わたむきの森」CO₂吸収プロジェクトとして取り組み、北畑・平子地先の一部で吸収量を算定したJ-クレジットを、今回初めて販売することができました。

初めてご購入いただいたのは滋賀銀行様です。同銀行がご購入されたクレジットは、『うみのこ』を運営する『びわ湖フローティングスクール』に寄贈されました。運航時に排出されるCO₂の埋め合わせを目的とした『カーボンクレジット』です。(1月15日の京都新聞に掲載されました)

